
仮面ライダーA〔エース〕

華rin

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮面ライダーA〔エース〕

【Nコード】

N0802Z

【作者名】

華rin

【あらすじ】

例のEXEの事件から数カ月…。

風都に現存するガイアメモリも、完全になくなった訳ではないが確実にその数は減ってきている。

その風都の鳴海探偵事務所にて翔太郎・フィリップ・亜希子は暇な時間を過ごしていた。

そんな時、一つの事件が彼らのもとへ舞い込んでくる……

二人の探偵と所長と刑事（前書き）

今更ダブル！？って人が多いかも知れませんが、衝動的に作ったものなのです：

つまり自己満足によって出来ている訳ですね。

無理な方は一刻も早く「戻る」を選択する事を推奨。

OKな方はどうぞ！

二人の探偵と所長と刑事

爽やかな風が吹く街、風都。

俺の名は『左 翔太郎』。私立探偵だ。

俺の師匠でハードボイルドな男、鳴海 荘吉が使用していた事務所です。ハードボイルドに毎日を過ごしている。

舞い込んでくる依頼の中には、『ガイアメモリ』という悪魔の道具によって人間が豹変した怪人『ドーパント』が絡む事件が多いが、今となってはその『ガイアメモリ』を製造していた『ミュージアム』という組織も消滅したため、ドーパント絡みの事件は大幅に減ったが、それでもまだ街に残っているメモリは結構な量になる。

それらを倒し、街の人々に涙を流させない戦士を街の住民たちはこう呼ぶ……『仮面ライダー』

俺と俺の相棒は、二人で一人の仮面ライダー……『仮面ライダーW』

ちなみに相棒の名は『フィリップ』。地球の全てと言っていい位の“記憶”が詰まった『地球の本棚』というものが、こいつの頭の中には存在する。

地球の本棚は、いくつかのキーワードを使って調べたいものを検索する。この力が事件解決に大いに役立っている。

俺がキーワードとなるヒントを持ち帰り、フィリップがそれを元に事件の真相となるものを検索する、といった感じで二人で協力し

ている。

スパンツ！

「痛って！！何すんだよ、亜樹子！」

「なにボォーっとしてんのよ、翔太郎君！」

こいつは『鳴海 亜樹子』。俺の師匠である鳴海 莊吉の娘で、この『鳴海探偵事務所』の所長にあたる。

見た目はちんちくりんの女子中学生だが、実際は二十歳だと言ってるんだから驚きだ。

フィリップとは馬が合うのか仲が良い。馬鹿と天才は仲が良くなるものなのだろうか。

そんな二人をボォーっと眺めていると……

「照井だ。左はいるか？」

ドアを開けて入ってきたのは、風都署に所属している刑事『照井 竜』。

こいつも俺たちと同じ、『アクセル』のメモリを持つ『仮面ライダー』だ。

「事件だ、しかも恐らくドーパント絡みのな。」

二人の探偵と所長と刑事（後書き）

まず読んで頂いた方全てに感謝の気持ちを。「ありがとうございます」

ダブルではありきたりな始まり方でしたね。

さて次の投稿は恐らく結構先になると思いますので注意してください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0802z/>

仮面ライダーA〔エース〕

2011年12月2日23時45分発行